



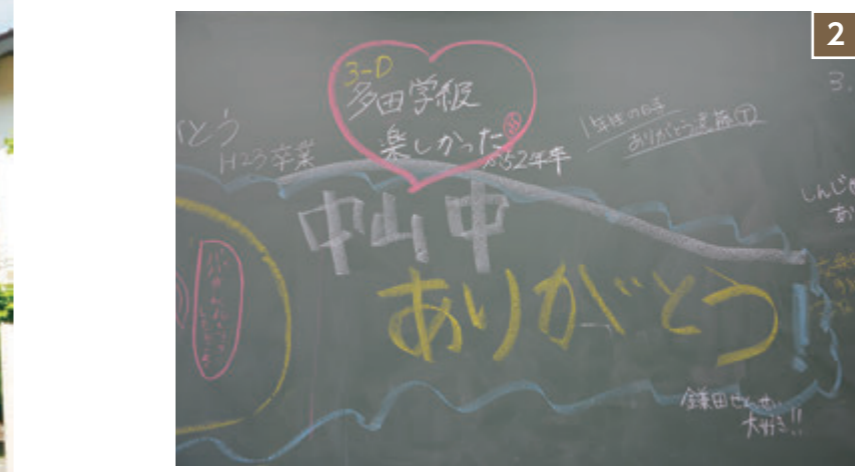
2日間のイベントで、中山中学校旧校舎には卒業生をはじめ約2500人が、また、5月3日に開催された新旧校舎見学会には約600人が来校し、旧校舎に別れを告げました。

昭和43年から48年もの間、中山中学校の生徒たちを見守ってきた旧校舎はその役目を終え、跡地はグラウンドやテニスコート、自転車置き場、クラブハウスに生まれ変わります。

昨年完成した新校舎も旧校舎と同様、たくさんの方を見守り、愛され、良い思い出をつくっていくでしょう。

中山中学校の歴史は、生徒や保護者、そして町民の皆さんによってつくられ、これからも続いていきます。

「旧校舎最後の登校日」 おわり



2



1, 2先生方や友人への感謝のメッセージが所狭しと書き込まれた黒板

下校時間がせまると、来校者全員での清掃が行われました。最後の「掃除の時間」です。

「学生の頃は掃除の時間がきらいだった」「こんなに丁寧に掃除をしたことはないかも」などと言葉を交わしながら、来校者は旧校舎での思い出を締めくくるように、丁寧に汚れを落としていました。

こうして、旧校舎はたくさんの方に見守られ、48年の歴史に幕を下ろしました。



#### 04 interview

写真左から  
西塔夏貴さん(柳沢)、斎藤美沙さん(達磨寺)

校舎の中に入るのは卒業以来で、とても懐かしいです。

一番の思い出は、3年生のときの文化祭合唱コンクールです。はじめはクラスの足並みがそろわず声もあまり出ていなかったのですが、大きな声が出るように外に向かって声を出す練習をしました。頑張りのかいあって、コンクールでは最優秀賞をいただくことができ、クラス皆で喜び合ったことをよく覚えています。